

核兵器のない世界を目指して「ヒバクシャ国際署名」に取り組みます！

ヒバクシャ国際署名は、ヒロシマ・ナガサキの被爆者が「後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したい。」と、核兵器の廃絶を求めて、2016 年 4 月に開始し、核兵器廃絶への一歩として、核兵器禁止条約の締結を求め署名を国連に提出してきました。世界各国の個人と団体がこの活動に参加し、現在の署名数は 5,154,866 筆となっています(9 月 29 日現在)。国内では 969 の市町村長(18 の県知事を含む)も署名をしています(12 月 4 日現在)。

この署名も後押しとなり、核兵器禁止条約の交渉会議が 2017 年 3 月と 6 月に開催され、2017 年 7 月 7 日、交渉会議参加の 124 ヶ国のうち 122 ヶ国の賛同により核兵器禁止条約が採択されました。条約への各国の署名手続きは 9 月 20 日に始まり、批准国数が 50 ヶ国に達した後、90 日を経て発効します。しかし、核兵器保有国と日本を含むその同盟国(ただしオランダを除く)は条約交渉会議に参加しませんでした。条約を批准しない国には条約の効力はありません。

2017 年 10 月 6 日には、国際 NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)」がノーベル平和賞を受賞しました。核兵器禁止条約締結に向けて活動してきた ICAN がノーベル平和賞を受賞したことは、現在世界中で核兵器廃絶に向けて取り組んでいる人々の力になり、また、条約未批准の国々への圧力になっています。

ヒバクシャ国際署名に取り組むことは、条約の批准への後押し、また、核保有国とその同盟国へのメッセージとなります。また、日本政府へ核兵器禁止条約の賛同と批准を求めることにつながります。私たちはこれまでも、「よりよき生活と平和のために」多くの組合員とともに平和について考え行動してきました。Peace Now! は 1983 年から始まり、2018 年度で 35 年目を迎えます。核の問題に関しても、2010 年と 2015 年の NPT 再検討会議へ向けて代表団派遣をし、平和への想いを発信してきました。引き続き、より多くの組合員や世界の人々と一緒に平和について考え、核兵器のない世界を目指して、ヒバクシャ国際署名に取り組んでいきます。

現在、全国の大学生協では、生協都道府県連や地域生協、他団体と協力し、署名活動に取り組んでいます。他団体を通して送付している署名数は 824 筆、大学生協連集約の署名数は 267 筆、大学生協全体としては 1091 筆でスタートしています(12 月 14 日現在)。また、理事会や組織委員会での学習や取り組みに関する協議も行われています。引き続き、大学生協同士、また他団体と情報共有をしながら、一緒に取り組みを進めていきましょう。

私たちは、私たちの生活と未来を守るために、核兵器のない世界を目指して、

1. より多くの組合員や世界の人々と一緒に平和について考え話し合いともに行動する機会を設けます
2. 2020 年までに、154,000 筆¹の署名を集め国連に届けます

以上

¹ この数は、組合員総数の約 1 割です。毎年 1 学年分新しい組合員を迎えることも踏まえて達成したい目標として掲げています。各生協でもそれぞれの目標数を設けて取り組みましょう。